

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	運動療法		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 水曜日1時限	教室名	
担 当 教 員	岩田 秀治	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
解剖学をもとにして疾患に対する運動療法アプローチについて学びます						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70% 2. 実技試験:20% 3. グループワーク中の態度・:10%□						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
オリジナルテキスト						
《授業外における学習方法》						
解剖学の復習をお願いします						
《履修に当たっての留意点》						
私語のないようにお願いします						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式 授業を通じての到達目標	運動療法とは		オリジナルテキスト		
	各コマにおける授業予定	運動療法の定義				
第2回	演習形式 授業を通じての到達目標	肩関節の運動療法1		オリジナルテキスト	前回の講義の復習 小テストの実施	
	各コマにおける授業予定	肩関節の解剖 肩関節の疾患				
第3回	演習形式 授業を通じての到達目標	肩関節の運動療法2		オリジナルテキスト	前回の講義の復習 小テストの実施	
	各コマにおける授業予定	関節可動域運動 モビライゼーションなど				
第4回	演習形式 授業を通じての到達目標	肩関節の運動療法3		オリジナルテキスト	前回の講義の復習 小テストの実施	
	各コマにおける授業予定	トレーニング ファシリテーションなど				
第5回	演習形式 授業を通じての到達目標	股関節の運動療法1		オリジナルテキスト	前回の講義の復習 小テストの実施	
	各コマにおける授業予定	股関節の解剖 股関節の疾患				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	股関節の運動療法2	オリジナルテキスト	前回の講義の復習 小テストの実施
		各コマにおける授業予定	関節可動域運動 モビライゼーションなど		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	股関節の運動療法3	オリジナルテキスト	前回の講義の復習 小テストの実施
		各コマにおける授業予定	トレーニング ファシリテーションなど		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節の運動療法1	オリジナルテキスト	前回の講義の復習 小テストの実施
		各コマにおける授業予定	膝関節の解剖 膝関節の疾患		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節の運動療法2	オリジナルテキスト	前回の講義の復習 小テストの実施
		各コマにおける授業予定	関節可動域運動 トレーニング ファシリテーションなど		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	足関節の運動療法	オリジナルテキスト	前回の講義の復習 小テストの実施
		各コマにおける授業予定	足関節の解剖 足関節の疾患 関節可動域運動 トレーニングなど		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	脊柱の運動療法1	オリジナルテキスト	前回の講義の復習 小テストの実施
		各コマにおける授業予定	脊柱の解剖 脊柱の疾患		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	脊柱の運動療法2	オリジナルテキスト	前回の講義の復習 小テストの実施
		各コマにおける授業予定	関節可動域運動 モビライゼーションなど		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	脊柱の運動療法3	オリジナルテキスト	前回の講義の復習 小テストの実施
		各コマにおける授業予定	トレーニング ファシリテーションなど		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	ケーススタディ1	オリジナルテキスト	前回の講義の復習 小テストの実施
		各コマにおける授業予定	腰痛		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	ケーススタディー2	オリジナルテキスト	前回の講義の復習 小テストの実施
		各コマにおける授業予定	前十字靭帯再建術後		